平成30年度(2018年度)選定評価委員会評価結果に対する対応状況

施設名	とよなか国際交流センター
所管部局	人権政策課

整理番号	内容	措置の内容又は対応の状況	進捗状況
豊中市国際交流センター指定管理者選定評価委員会			
1	・貸室について、時間帯や部屋によって稼働率に偏りがあるため、稼働率の低い時間帯や部屋がなぜそのような状況にあるかなど原因を調査の上、稼働率アップのための工夫をされたい。	貸室の利用に関するアンケート調査を実施するなどして、原因の究明を行い、そこから稼働率アップのための工夫につなげていきたい。 ⇒年度内に関係機関(とよなか国際交流センター利用者や市内公共施設など)に聞き取り調査またはアンケート調査を実施し、分析、改善策の提案までつなげていきたい。	対応中
2	・市内居住者の利用割合の底上げを図るための工夫をされたい。	市内居住者に対する広報活動を進めることで、市内居住者の利用を進めたい。市民が気軽に参加できるイベント、セミナーを予定しているほか、地域のイベントにも積極的に参加し、広報及び関係づくりを進めたい。⇒6月、8月、9月に一般市民が参加できるイベント、年内に市内3か所で一般市民を対象としたセミナーを予定している。	対応中
3	・育児介護休業規定第21条の育児介護ハラスメントの防止及び性的ハラスメントの防止に関しては、就業規則に規定されているが、上司・同僚からの妊娠・出産等に関する言動により当該労働者の就業環境を害することがないよう防止措置を講じられたい。(男女雇用機会均等法第11条の2により事業主の責務)	就業規則を改定し、上司・同僚からの妊娠・出産等に関する言動により当該労働者の就業環境を害することがないよう防止措置を講じた。	措置済
4	・2019年4月施行予定の改正労働基準法では、有給休暇の強制取得制度が導入される。働きやすい職場環境を整備するとともに、努力目標として50%の有給休暇取得率をめざすよう期待する。	有給休暇の取得に関して就業規則の改定を行ったほか、計画的な休暇取得及び職員の個々の状況に合わせた柔軟な休暇取得を進めているところである。⇒2019年3月の理事会で就業規則を改定し、さらに現在、事務局ミーティング等で積極的な取得を促しているところ。今年度目標達成を目指す。	対応中